

事業法人向けソリューション
「革新的なIR・PR戦略を
グローバルに展開」
株式会社 日立製作所 様

Bloomberg

リアルタイムな情報入手で 攻めの「広報・IR」をグローバルに展開

HITACHI
Inspire the Next

業種：総合電機

本社所在地：東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

創業：1910年（設立1920年）

連結従業員数：323,540名
（2012年3月末日現在）

概要

情報・通信、電力、社会・産業システムなど幅広く事業を展開。ITで高度化された社会インフラを提供する「社会インノベーション事業」のグローバル展開の加速と経営基盤の強化により、さらなる成長をめざす。

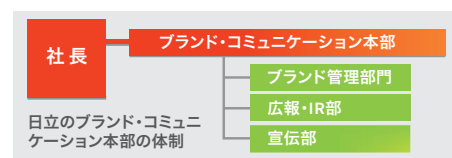


株式会社日立製作所
ブランド・コミュニケーション本部
広報・IR部 部長代理・高橋正浩さん

待たなしで進むグローバル化の波は、企業のブランド戦略を担う広報、IR活動のあり方をも大きく変えつつあります。目下の課題は、世界規模でいかに企業価値、企業イメージの向上をはかるか。日立製作所では、広報・IR部をブランド・コミュニケーション本部の傘下に位置づけており、多様なコミュニケーション活動を一貫したブランド戦略の下で実践することで、企業価値と企業イメージの相乗的な向上を目指しています。

同社ブランド・コミュニケーション本部 広報・IR部 部長代理・高橋正浩さんは、次のように語ります。「社内カンパニーや国内外のグループ会社の広報部門と連携をはかり、「One Hitachi」として統一したメッセージをグローバルに発信していくことが我々のミッションです。また、マスメディアや投資家の意見を経営幹部へ随時フィードバックして経営に反映していくことも重要です」。

まさに経営判断にも直結する重要な役割を担う同社の広報・IR部。その情報のハブとなっているのが01年に導入した「ブルームバーク プロフェッショナル® サービス」です。



国内外のメディア・投資家対応のツールとして、 もはや欠かせないアセット

同社が、数多くの情報サービスの中からブルームバークに白羽の矢を立てたのには、いくつかの理由がありました。まず、一つには、リアルタイムでグローバルな情報を入手できること。とくに、金融危機や欧州財政問題、政情不安など、企業の存続さえ揺らぎかねないクライシスが多発している昨今、すべての企業にとって世界情勢の変化を踏まえたスピーディな対応力が求められる時代になっています。

とくに、日立製作所のように、世界各地に900社以上のグループ会社を擁する企業にとっては、「広報・IR活動も世界を見据えたスピード感が求められます。要となる情報ツールも即時性が大きな決め手でした」（高橋さん）。そこで着目したのが、幅広いグローバルネットワークを擁する「ブルームバーク プロフェッショナル® サービス」。世界の経済ニュースや金融市場の動向はもちろん、企業、業界、メディア、各政府の動向を総合的にカバーした透明性の高いデータを、国内メディアに先んじて入手できる点に魅力を感じたといいます（*1）。

高橋さんら広報・IRチームでは、朝一番にブルームバークの端末を立ち上げ、日中も随時チェック。飛び込んでくる最新の報道やデータを元に、国内外からのさまざまな問い合わせに、後手に回ることなく迅速かつ適切に対応しています。

投資家、アナリストの包括的な情報を入手できる

さらに、投資家の包括的な情報を入手・分析することも重要なミッション。「ブルームバークなら、自社および競合他社の株主情報について、取引状況のヒストリカルデータを含めてアクセスできます。常時更新されるアナリストレポートや投資家のコメント、彼らの投資動向・履歴をも閲覧できるのがポイントでした」と高橋さん。これらの情報ソースをもって、投資家やアナリストとのミーティングに際しての準備も、より入念に実践可能になるなど、数々のビジネスメリットが生まれたといいます。

こうして、対外的に仕掛けていく“攻め”のIRも実現。「ブルームバークの端末は、私たちチームにとって、もはや必要不可欠なアセット（資産）となっています」と高橋さんは語ります。

業界内のポジションも即、把握できる シンプルな操作性と分析機能の魅力

得られる情報の客観性も決め手のひとつでした。「広報・IR活動において、決算発表や各種リリースなどの企業メッセージに対し、市場がどう反応、期待しているかを客観的に見極め、分析することが肝要」と高橋さん。「ブルームバーグ プロフェッショナル® サービス」では、コンセンサス収益予想(*2)から、Twitter、業界ブログなどのソーシャルメディアに投稿される自社や業界に関する記事まで幅広くモニター可能。海外においても随時、発表案件を抱える同社にとって、発表後のメディアや市場の反応、期待度を即、把握し、次なる戦略に活かせることが大きなメリットとなっています。



また、本サービスでは、決算発表を含む、年間10万件を超える企業イベントの情報も網羅。こうした、すべてのデータと機能がオールインワン型のプラットフォームで入手できるため、チーム全体で効率的に情報を共有。情報を探す時間や手間をはぶくことが可能です。

さらなる操作性アップに向けて、 新ツールも登場

各種情報、データを組み合わせた経営分析が可能になることも、他にはない武器となっています。「ブルームバーグ プロフェッショナル® サービス」では、株価の推移や財務データ、最新のニュースなどを組み合わせ、業界内での自社、競合他社との相対的位置付けを客観的に把握可能。こうした分析機能がローンチパッド(*3)で即、カスタマイズ可能なのもポイントで、「迅速な対応が求められるなか、スムーズに情報が入手できるのは非常に助かります」と高橋さん。世界の金融のプロが支持する本格的なクオリティを追求しつつ、インターフェースに関してはきわめてユーザーフレンドリーに作られていることが、同社のように金融以外の業界においても注目される理由となっています。

操作性については、さらに日進月歩で進化中。リクエストに応じて、投資家の情報をエクセルでダウンロードできる新ツールが追加されるなど、本サービスは、高橋さんら広報・IRチームのグローバルな業務において、重要な役割を果たしています。



ローンチパッドの画面(カスタマイズ例)

*1グローバル&リアルタイム ニュース

企業、市場、業界、経済、各国政府の動向などを総合的にカバーし、世界中で発信される海外ビジネスに必要なニュースをリアルタイムで提供。ニューヨークタイムズ、読売新聞やBBCなどの主要報道機関による200,000を超えるアーカイブ記事を閲覧できる。

*2コンセンサス収益予想

決算発表やリリース発信などの自社の発表後、市場の反応、自社に対する市場からの期待度を客観的に把握可能。

*3ローンチパッド

迅速な意思決定の実現には、その企業独自の戦略に紐づいた情報を素早く把握できることが必要条件。ブルームバーグでは、「ローンチパッド」機能によって、基本的な市場データやブルームバーグの幅広い分析機能の中から必要なものだけを選択し、独自のカスタマイズページを提供。

例えば、日立製作所のケースでは、グループ会社や競合他社の株価、チャート、ニュースなどを一覧で表示するオリジナルの画面を作成。株価やコンセンサスに関する比較分析が即、可能となっています。



バンコク +66 2 654 7300	香港 +852 2977 6000	ロンドン +44 20 7330 7500	マニラ +63 2 789 7000	ソウル +82 2 3702 1600	シドニー +61 2 9777 8600	東京 +81 3 3201 8900
ドバイ +971 4 364 1000	ジャカルタ +62 21 2355 3000	ムンバイ +91 22 6120 3600	ニューヨーク +1 212 318 2000	シンガポール +65 6212 1000	台北 +886 2 7719 1500	北京 +86 10 6649 7500